

# 学校再編だより

【府馬小学区】  
- 第1号 -



平成25年10月 1日発行  
香取市教育委員会教育総務課  
☎ 0478-50-1220

## 山田地区の小学校の 5校を一つに統合することについて 検討を開始します。

現在、香取市では、毎年100人規模で児童数が減少しており、今後、二学年を一学級に編成する複式学級が増えてきます。府馬小学校においても児童数が減少し、平成28年度には100人以下になる見込みです。

少子化は急激に進んでおり、教育委員会では、中長期的な視点に立ち山田地区の5つの小学校を一つに統合する案を検討しています。

府馬小学校の学校再編について市民協働で協議をするため、平成25年9月24日に府馬小学校ランチルームにおいて、府馬小学校地域検討会議準備会を開催し、教育委員会からの説明の後、活発な意見交換が行われました。

地域検討会議のメンバーは、保護者の代表者(PTA 役員等)・地域の代表者(各区長等)・学校教育関係者で組織します。

今後、府馬小学校地域検討会議を設置し、山田地区の小学校5校を一つに統合するという教育委員会からの提案について、府馬小学区としての意見を取りまとめることとなります。



H25. 9. 24 開催 準備会の様子

次のとおり地域検討会議を開催します。この会議は、傍聴することができますので、一緒に次代を担う子どもたちの学校教育について考えましょう。皆様のご来場をお待ちしております。

**日時** 平成25年10月23日(水) 午後7時から

**会場** 府馬小学校 ランチルーム

**議事** ①地域検討会議の設立について ②地域検討会議設置要綱の制定について  
③役員を選出について ④学校再編に対する意見集約について  
⑤意見交換

# 学校再編だより

【府馬小学区】  
- 第2号 -



平成25年10月31日発行  
香取市教育委員会教育総務課  
☎ 0478-50-1220

## ～学校再編を市民協働で進めるための話し合いの場～ 府馬小学校地域検討会議が設立！

平成25年10月23日、府馬小学校ランチルームにおいて第1回地域検討会議が開催されました。この会議は、「山田地域の小学校5校を一つに統合する」ことなど、学校再編について検討協議を行うことが主な目的で、保護者の代表者、地域住民の代表者、学校教育関係者の委員26名で構成しています。

会議では、地域検討会議の設置及び地域検討会議の設置要綱の制定及び地域検討会議の役員を選出並びに今後の進め方について協議し、次のとおり決定しました。

・地域検討会議の設立及び要綱の制定・・・「承認」

・地域検討会議役員

- 会 長・・・鈴木 和彦 氏（府馬区長）
- 副会長・・・藤崎 嘉彰 氏（PTA会長）
- 理 事 多田 茂夫 氏（学校評議員）
- 理 事・・・寺本 忠雄 氏（遠茶区長）
- 理 事・・・小出 薫 氏（PTA会計）
- 理 事・・・葛見 浩 氏（大くす会会長）



地域検討会議の様子

今後、地域の意見を集約するにあたり、地域説明会を開催することや、アンケート調査を行っていくことが話し合われ、まず、**地域説明会を12月15日（日）**に開催（説明会のお知らせをご覧ください）することとなりました。

次回の地域検討会議を次のとおり開催します。この会議は、傍聴することができますので、次代を担う子どもたちの学校教育について一緒に考えましょう。皆様のご来場をお待ちしております。

日 時 平成25年12月18日（水）午後7時から

会 場 府馬小学校 ランチルーム

主な議事 ①地域説明会の概要について ②アンケートについて  
③意見交換 ④その他

# 学校再編だより

【府馬小学区】  
- 第3号 -



平成26年1月10日発行  
香取市教育委員会教育総務課  
☎ 0478-50-1220

## 学校統合が必要か

### 山田地域の小学校五校を一つに統合か

### アンケート調査を行う

平成25年12月18日に開催した府馬小学校地域検討会議では、府馬小学区の地域説明会の結果報告と山田地域の学校再編について協議しました。学校統合について地域検討会議として意見を取りまとめるにあたり、府馬小学区の皆様の意向を把握するため、アンケート調査を全世帯に実施することになりました。

1月下旬から区長を通して配布、回収が行われますので、ご協力をお願いいたします。

このほか、府馬小学校地域検討会議での意見・質問等の主な内容は、次のとおりでした。

**意見：**保護者へ今回の統合の件が浸透していない。

対応⇒小学校を通して保護者へ学校統合等の文書を配布する。

**意見：**配布文書を作成するのであれば、小学校が今大変な時で、危機感のある内容で作成すべきである。

**質問：**山田地域の他の小学校のアンケートの状況は

回答⇒昨年度は、八都第二小(保護者・就学前を含)と山倉小(全世帯)で実施した。

今年度は、第一山倉小(全世帯)、八都小(全世帯)及び府馬小の三地区で取組んでいる。府馬小のアンケートの内容は、第一山倉小や八都小と同じ内容で考えている。

# 学校再編だより

【府馬小学区】  
- 第4号 -



平成26年2月20日発行  
香取市教育委員会教育総務課  
☎ 0478-50-1220

## 学校統合について

### 府馬小学区の意見をまとめます。

次回の府馬小学校地域検討会議では、「府馬小学校 学校再編に関するアンケート調査」の結果を参考資料として、山田地域の小学校5校を一つに再編することについて、地域検討会議の意見集約を行います。また、アンケート調査結果は後日、地域へ回覧等で報告いたします。

なお、山田地区の他の学校区の状況は次のとおりです。

#### 【第一山倉小学区】

地域全体にアンケート調査を平成25年10月下旬から12月上旬にかけて実施し、現在、地域検討会議で意見集約を行い、検討結果報告書を作成しています。

#### 【八都小学区】

地域全体にアンケート調査を平成25年11月下旬から1月上旬にかけて実施し、現在、地域検討会議で意見集約を行っています。

次回の地域検討会議は下記のとおりです。会議はどなたでも傍聴することができます。皆様のご来場をお待ちしております。

**日 時** 平成26年3月14日(金)午後7時から

**会 場** 府馬小学校 ランチルーム

**主な議事** ①アンケート調査結果について

②地域検討会議意見集約について

# 学校再編だより

【府馬小学区】  
- 第5号 -



平成26年 4月 1日発行  
香取市教育委員会教育総務課  
☎ 0478-50-1220

## 小学校統合は、「子ども達のために、統合やむなし」との方針にまとまる。

府馬小学校地域検討会議が3月14日に開催されました。会議では、アンケート調査結果が報告され、各委員から意見を伺い、意見集約が行われました。その中では、統合に賛成する意見と、統合に伴う通学の課題や心配されることなどの意見が出されました。

少子化が今後も見込まれることや、子ども達の教育環境の向上を図るためにも、山田地区の5小学校を一つに統合やむなし、との方針にまとまりました。次回は、検討結果報告書の内容を検討します。

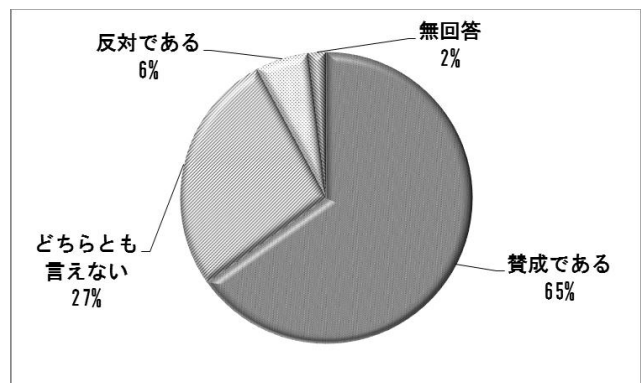
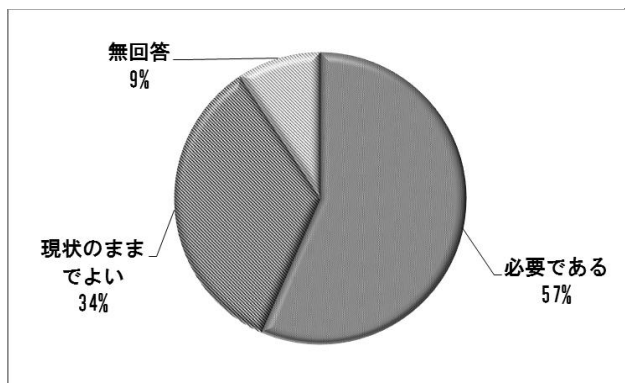
アンケートの主な結果は次のとおりです。

(対象世帯数：776世帯 回収枚数：618枚 回収率：79.6%)

問：山田地域の小学校5校を一つに再編する案についてどう思いますか。

問：あなたは、学校統合は必要と思いますか。

(統合が必要と答えた方のみ回答)



※アンケート結果の詳細は、別途回覧をします。

次回の地域検討会議は下記のとおりです。会議はどなたでも傍聴することができます。皆様のご来場をお待ちしております。

日 時 平成26年4月22日(火)午後7時から  
会 場 府馬小学校 ランチルーム  
主な議事 検討結果報告書の内容について  
代表者会議の委員の選出について

# 学校再編だより

【府馬小学区】  
- 第6号 -



平成26年 5月 1日発行  
香取市教育委員会教育総務課  
☎ 0478-50-1220

## 子どもたちのことを最優先に 山田地域5校の統合に賛成

府馬小学校地域検討会議では学校再編について、地域説明会や地域全体へアンケート調査を行い検討協議を重ねてきました。この度、その結果がまとまり、検討結果報告書が教育委員会に提出されました。

検討の結果は、「**山田地域の小学校5校を一つに統合することについて、府馬小学校の閉校は惜しまれるが、次代を担う子どもたちのことを最優先に考え、統合に賛成する。**」となりました。（詳細は下記をご覧ください）

今後は、山田地域の各小学校の代表者による代表者会議を設置し、山田地域の小学校5校統合のための基本的な事項である 学校の位置・統合の時期・学校名・校歌・校章等の協議を行います。

### 香取市立府馬小学校地域検討会議 検討結果報告書（抜粋）

教育委員会から提案のあった「山田地域の小学校5校を一つに統合する」ことについて、地域住民の代表者、保護者の代表者、学校教育関係者で組織する香取市立府馬小学校地域検討会議を設置し、地域説明会並びに学校再編に関するアンケート調査を学区内の全世帯に実施し、それらの結果を基に検討協議を行ってきた。

この度、その検討結果がまとまったので、香取市立府馬小学校地域検討会議設置要綱第2条の規定に基づき下記のとおり報告する。

記

#### 1. 検討結果

教育委員会が提案する、府馬小学校を含む山田地域の小学校5校を一つに統合することについては、明治からの伝統ある小学校の閉校は惜しまれるが、少子化が進む中、次代を担う子ども達の事を最優先に考え、賛成とする。

なお、統合に伴い、保護者が心配している事項の解消に、教育委員会は尽力されたい。

（裏面につづく）

## 2. 検討経過 (略)

### 3. 検討の概要

教育委員会の説明では、市の人口は今後も減少し、特に15歳未満の人口は平成22年の国勢調査時と比較して、平成42年は半分近くに減少する推計である。府馬小学校も平成28年度には、児童数が100名を下回る推計である。

このため、将来にわたり再統合の必要が生じない「山田地域の小学校5校を一つに統合すること」が、教育委員会から提案された。

今回、この提案について、府馬小学校地域検討会議において、説明会や地域全体へアンケート調査を実施し、検討協議を重ねた。

#### 説明会

小学校の統合について、地域や保護者へ周知するために、説明会を実施した。

府馬小学校や山田地域の小学校の児童数推移と、学校統合の必要性等についての説明を教育委員会が行い、保護者や地域の方の意見や考えを直接伺った。

説明会では「学校が小規模化するとメリットより、デメリットが大きくなると思うので心配である。」、「保護者の意見が大事である。」、「明治からの伝統ある府馬小学校を地域に残すべきだ。」などの趣旨の意見があった。また、小中一貫校についての質問などがあった。

#### アンケート

アンケート調査結果は、子どものいない世帯が58%と多かったが、統合は必要であるとの回答が57%であった。中学生以下のいる世帯では、66%が統合は必要であると回答しており、統合を支持する率が高い。

統合が必要と回答した世帯の内、山田地域の小学校5校を一つに統合する事については、賛成が65%、どちらとも言えないが27%、反対が6%であった。

また、意見では、統合校の設置に伴い、既存の施設を有効利用することや、スクールバス等の通学方法についての課題など、5校の統合について心配する意見が寄せられた。

#### 検討協議総括

府馬小学校は創立以来、地域と共に歩み歴史と伝統が築かれてきた。しかしながら、少子化の影響で、児童数は減少することが見込まれる。多くの集団で共に学び、支え合い、切磋琢磨できる環境が、学校には必要である。

児童数が減少し続ける現状では、次代を担う子ども達の教育環境を最優先で考え、学校統合することは、やむを得ないものと思量し、学校統合に賛成とする。また、将来を見据え、再統合の危惧がない山田地域の小学校5校を一つにすることが、最も有効な統合方法であると考えます。

ただし、学校統合により、保護者が心配に思うことに対し、教育委員会は誠意をもって対応することを望む。